

12月議会議案審議

採決結果 町長提出議案一覧

条 例： 5件
補 正 予 算： 8件
そ の 他： 7件
計 20件

議案番号	区 分	議 案 名	審議採決の結果
議案第80号	条例	和水町職員の降給に関する条例の制定について	原案可決
議案第81号	条例	和水町条件付採用期間中の職員及び臨時的任用期間中の職員の分限に関する条例の制定について	〃
議案第82号	条例	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	〃
議案第83号	条例	和水町国民健康保険税条例の一部改正について	〃
議案第84号	条例	和水町放課後児童クラブ施設の設置及び管理に関する条例の制定について	〃
議案第85号	補正予算	令和2年度 和水町一般会計補正予算（第9号）	〃
議案第86号	補正予算	令和2年度 和水町国民健康保険事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第87号	補正予算	令和2年度 和水町介護保険事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第88号	補正予算	令和2年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第4号）	〃
議案第89号	補正予算	令和2年度 和水町簡易水道事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第90号	補正予算	令和2年度 和水町下水道事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第91号	補正予算	令和2年度 和水町後期高齢者医療事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第92号	補正予算	令和2年度 和水町病院事業会計補正予算（第4号）	〃
議案第93号	その他	財産の減額譲渡について（旧菊水西小学校・土地）	〃
議案第94号	その他	財産の減額譲渡について（旧菊水西小学校・建物等）	〃
議案第95号	その他	指定管理者の指定について（和水町福祉センター）	〃
議案第96号	その他	指定管理者の指定について（菊水ロマン館）	〃
議案第97号	その他	指定管理者の指定について（和水町三加和温泉ふるさと交流センター及び和水町緑彩館）	〃
議案第98号	その他	町道の路線認定について	〃
議案第99号	その他	工事請負変更契約の締結について	〃

【継続審査分】

受付番号	受付年月日	件 名	審査結果	付託委員会
131	令和2年8月 6日	請願書 町道水落線「道路舗装」について	継続	厚生建設経済 常任委員会
142	令和2年8月26日	堤の埋め立て事業に関する陳情書	継続	〃
159	令和2年9月 1日	町道 西山2号線に架かる天神橋改築に関する陳情書	継続	〃

12月定例会 賛否一覧表

賛否が分かれた議案だけを掲載
○は賛成 ×は反対 -は欠席

議 案	議員名	議 案 名	荒木	白木	齊木	坂本	竹下	高木	秋丸	松村	庄山	池田	森	蒲池
			宏太	淳	幸男	敏彦	周三	洋一郎	要一	慶次	忠文	龍之介	潤一郎	恭一
議案第93号	その他	財産の減額譲渡について (旧菊水西小学校・土地)	-	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	※
議案第94号	その他	財産の減額譲渡について (旧菊水西小学校・建物等)	-	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	※

※議長は可否同数または特別議決の時以外表決に参加しません。

討論

議案第85号 反対：池田議員 賛成：高木議員
議案第93号 反対：池田議員 賛成：高木議員
議案第94号 反対：池田議員 賛成：高木議員、坂本議員

令和2年度 一般会計補正予算

2億5,270万2千円を追加

総額 110億2,534万1千円に

令和2年
12月
定例議会
報告

令和2年12月議会定例会は、12月7日から11日までの5日間で開催され、町長提出議案20件（条例5件、補正予算8件、その他7件）が上程され、それぞれ可決された。

補正予算のうち一般会計の主なものは、歳入に「ふるさと応援寄付金が2億5千万円」、「財産売却収入1,550万円」などが追加され、他事業会計への繰出金458万2千円や人件費549万5千円が減額された。

歳出では、ふるさと応援寄附金のうち1億2,500万円を積立て、残りは返礼品代、WEBサイト運営費に充てられる。その他、補助費、コロナ感染症対策費などが追加された。

債務負担行為（次年度以降に執行を予定する事業費限度額を予め計上するもの）の補正は、広報なごみ印刷製本業務に370万円、指定管理料として福祉センター分1,350万円（令和3～5年度）、ふるさと交流センター・緑彩館分600万円（令和3～4年度）、放課後児童クラブ分3,900万円（令和3～5年度）、コロナ対策特別資金利子補給（令和5～7年度）など。

一般会計・特別会計補正予算

会 計 名	補 正 額	総予算額
一般会計	2億5,270万2千円	110億2,534万1千円
国民健康保険事業会計	348万6千円	13億9,189万9千円
介護保険事業会計	1,715万5千円	14億9,898万円
特別養護老人ホーム事業会計	△1,056万4千円	5億721万円
簡易水道事業会計	△8万4千円	7,703万5千円
下水道事業会計	△4万9千円	7,668万円
後期高齢者医療事業会計	13万5千円	1億7,935万6千円
病院事業会計	751万1千円	9億3,063万7千円

常任委員研修報告

人吉球磨地方豪雨災害復旧復興状況
球磨村、球磨川沿いの屋根まで浸水した住宅、店舗、駅、いずれも手につけられない状態の所もあり研修当日は穏やかな球磨川であったが、川のいたるところで橋梁が崩壊していた。
人吉青井阿蘇神社は拝殿まで浸水したとの事だったが、復旧が進んでおりほぼ元の姿に復元されていたが、門前の蓮池には土砂が堆積しており削作業中であった。
水害の痕が残る自宅で清掃作業をされていた近隣住民の方にお話を聞いたところ、増水する時間が早く、避難するのがやっとだったと命を守る行動を



球磨村の被災状況

球磨村、球磨川沿いの屋根まで浸水した住宅、店舗、駅、いずれも手につけられない状態の所もあり研修当日は穏やかな球磨川であったが、川のいたるところで橋梁が崩壊していた。
人吉青井阿蘇神社は拝殿まで浸水したとの事だったが、復旧が進んでおりほぼ元の姿に復元されていたが、門前の蓮池には土砂が堆積しており削作業中であった。
水害の痕が残る自宅で清掃作業をされていた近隣住民の方にお話を聞いたところ、増水する時間が早く、避難するのがやっとだったと命を守る行動を

厚生建設経済常任委員会においては、令和2年11月4日(水)～5日(木)の日程で令和2年7月の豪雨災害により球磨川が氾濫し甚大な被害をうけた人吉球磨地方及び平成28年熊本地震により甚大な被害をうけた益城町の災害復旧復興状況視察、山都町の孟宗竹を活用した山都町竹資源利活用協議会を視察研修した。
この研修会にあたっては、出席議員5名随員職員2名計7名で熊本県コロナリスクレベル3警報発令中ではあったが、手洗い、うがい、マスク着用、3密を回避しコロナ感染症対策に緩みがない様に心がけ、視察研修を行った。
令和2年7月の豪雨災害、平成28年の熊本地震により尊い多くの方の人命が失われており、お亡くなりになられた方々のご冥福と一日も早い復旧復興を願う。

委員長 坂本敏彦
とられたお話を、人吉市内の旅館やホテルはほとんど営業再開ができていないとお話をされた。
益城町の熊本地震復旧復興状況
復旧復興が進んでいないが、農道や水路が崩落した壊滅箇所、宅地法面ブロックによる補強工事、4年半経過した現在も復旧工事中の現場を視察した。次に、熊本地震の震源断層である日奈久断層と布田川断層が地震により地表地震断層が地上に露出し本来まっすぐだった水田の畔が2mほどのずれが生じていた。
この畔のずれは、平成31年2月13日付で国指定文化物に(天然記念物)指定されている。
最後に都市防災総合推進事業により現在17カ所の避難広場が整備されている。
避難広場には、防災倉庫、東屋、収納型ベンチ、かまど型ベンチ、マンホール型トイレ、ソーラー照明灯、手押し式井戸が整備されていた。

山都町竹資源利活用協議会
平成24年に設立され、放置竹林や間伐竹の孟宗竹を原料とし循環型農業に取り組まれている。洗浄、粉碎、発酵させた竹パウダーは(商品名、山都竹炭、やまとたけのこ)年間50tを生産、また粉碎だけの竹チップについては年間60tを生産し土壌改良材として販売されている。
5年～6年もの孟宗竹が適していて、土壌の乳酸発酵を促進し栄養価、アミノ酸類を高めた竹パウダーは土壌の雑菌繁殖抑制、土壌中菌種の多様化により水稲やトマトでは、根の張りがよく、じゃがいもについても未散布の圃場と比べ病気や腐れが少なく収量も増加した実績がでていた。
視察研修を終えて
本町においても、7月の豪雨災害において人命にかかわる災害はなかったものの、山腹崩壊、道路崩壊、道路陥没、住宅浸水など被害は甚大であり一級河川の菊池川が流れており、防災減災国土強靱化のための3カ年緊急対策事業により菊池川の掘削工事が行われており増水時の水位は低下するものと推察されるが、年々甚大化する自然災害に対し今後、議会と執行部意見を持ち合い町民の生命財産を守るために、あらゆる面からの対策を講じていく必要があると思う。
また、孟宗竹を原料とした竹パウダーや竹チップについては、本町にも竹資源が豊富にあり、粉碎機についても山都町竹資源利活用協議会で使用されている粉碎機より低価格、高性能の粉碎機が発売され鹿児島県に導入されている。竹資源を活用した循環型農業は本町においても取り組む事の出来る事業の一つではないかと申し添え、厚生建設経済常任委員会所管の事務調査報告とする。

迎春 2021



年頭の挨拶

あけましておめでとうござい
ます。町民の皆さまにおかれま
しては、健やかに新春をお迎えの
こととお慶び申し上げます。本
年が、平穏で実りある一年になり
ますことを祈念申し上げます。
日頃より町議会に対し深いご
理解とご協力を賜り、厚くお礼申
上げます。年頭に当たり、町議
会を代表いたしまして、謹んで新
年のごあいさつを申し上げます。
さて、昨年は、新型コロナウイルス
感染症が世界的に流行し、日
本でも感染拡大防止のためイ
ェント・スポーツの自粛や学校の臨
時休校、経済活動の縮小などの措
置が実施されたほか、都市部など
で更なる感染拡大の兆候が出て
きたことから、政府により緊急事
態宣言が発令されました。
本町においても、町のイベント
や学校行事、地域の諸行事などが
中止され、飲食業、観光業におい
ては予約キャンセルや受注がな
いなど事業の継続に大変なご苦
労をされており、感染症の早期取
束を願います。
また、7月の大雨豪雨では、河
川や道路、農地、山林などが被災
し、約11億円の被害が出ており、
現在復旧に向け取り組んでいる
ところです。
今、新型コロナウイルス感染症
の猛威により、かつてない社会の
転換期を迎えています。町議会
として、町民の安全で安心な生活
を守っていくため、皆で知恵を出
し合い、この窮状を乗り切ってい
かなければならないと考えます。
二元代表制の一翼を担う議会と
しての役割を十分果たせるよう
全力で取り組んでまいりますので、
今後とも町民の皆さまのご理解
とご協力を賜ることをお願いし
ますとともに、皆さまのご健康と
ご多幸を祈念し年頭のごあいさ
つといたします。
和水町議会議長
蒲池 恭一



ズバリ!聞きます 一般質問

12月定例会では10名の議員が一般質問を行いました。主な質問事項は次のとおりです。

- 池田 龍之介議員 9P**
 - 維持費管理費削減の大義名分の下、町民の財産をバナナのたたき売りじゃあるまいし馬鹿安価格での処分を許して良いのか!!
- 庄山 忠文議員 6P**
 - 災害豪雨について
 - 学校跡地について
- 高木 洋一郎議員 7P**
 - 旧神尾小学校跡地の活用をどう考えるか
 - 譲渡希望企業の騒音、井戸枯れ、排水の対策は
- 坂本 敏彦議員 7P**
 - 学校跡地活用について
 - コロナ禍の中、農畜産物価格低迷対策について
- 齊木 幸男議員 8P**
 - 旧南小購入希望価格1,000万円は、他の学校跡地に比べて大幅に安い。普通の住宅の価格ではないか
 - 区民・町民が納得のいく説明会を
- 松村 慶次議員 8P**
 - 広域圏での町づくりを
- 白木 淳議員 9P**
 - 「全集中」で町長自らPRを!!
- 秋丸 要一議員 10P**
 - 少子化は、町の存亡に関わる問題だ本気で新たな施策を早急に講じるべし!
- 森 潤一郎議員 10P**
 - 新型コロナウイルス感染症の拡大対応について
 - 菊水地区の学童保育はどうなっていくのか
- 荒木 宏太議員 11P**
 - 学校跡地等活用検討委員会最終報告の方針との整合性は?

*一般質問の記事は、質問した議員が600字程度に要約したものです。原文を尊重していますが、一部編集しています。
 *発言が「～である。」調で記載していますが、質問・答弁は丁寧語で発言されています。
 *会議録は町の公式ホームページで閲覧できます。

問 旧神尾小学校跡地の活用について、宅地開発の考えはないか?

答 (町長) 校舎等の解体、造成、給排水施設などに多額の投資が必要になるので、学校跡地は働く場の確保の方向で進め、若者が町に残る環境を作りたい。宅地造成は費用対効果を検証する必要がある。

問 旧神尾小学校跡地の譲渡希望企業に対して、住民が懸念する「騒音」「井戸枯れ」「排水」は、どう対応するのか?

答 (町長) 譲渡希望企業の作業音は、作業機械に防音装置を施し、更に建物で覆うので、屋外では40〜50デシベル程度となり、熊本県の騒音規制以下で、図書館や静かな事務所程度の音である。町が夜11時頃に正門付近で行った騒音測定調査では、車両通行時が平均60デシベル以上、車両通行

がない時で40デシベル程度だった。井戸枯れについては、既存の井戸を利用し、従業員用のトイレや手洗い等の生活用水のみに使用する。神尾小学校時代には、児童など約100人の生活用水、給食調理、プールに使用していたが、井戸枯れしたことはない。過去の使用量を超えることは考えにくい。排水は、生活用水以外は排水さねない。工場内で使用する潤滑油、洗浄液等はすべて専門業者が回収し適正に処理する。仮に問題が発生した場合は、地域住民に寄り添って対応する。

区分	8時~19時	6~8時 19時~22時	22時~ 翌日6時
第3種区域	65デシベル	60デシベル	50デシベル
音の目安	夜間の道路周辺	郵便局・役場の窓口	書店の店内

熊本県騒音規制区分では、和木町は第3種区域(用途地域外)で、その基準は次の通り
 *音の目安は、全国環境研協議会資料を参考



高木洋一郎議員

旧神尾小学校跡地の活用をどう考えるか? 譲渡希望企業の騒音、井戸枯れ、排水の対策は?



庄山 忠文議員

豪雨災害について 学校跡地について

問 復旧の進捗状況と令和3年6月まで町道、農道、河川、農地の復旧は終了か。また、小規模災害の完了と残は。

答 (農林振興課長) 農林振興課所管の西山大規模災害地は国の確定で1億2千万円が山留工、緊急総合治山事業、単県治山事業自然災害復旧で詳細測量設計に入って令和3年4月から令和4年完了見込み、県治山事業の上和仁地区、中和仁地区、山十町橋上地区においては、令和3年から令和4年3月まで完了を見込んでいる。

答 (建設課長) 建設課事業では、町河川災害42件、4億797万3千円、農業災害124件、3億3,134万5千円、小災害246件、6千919万円、計450件、10億4,696万2千円が被害で、12月4日災害査定が終わり、1月より工事発注を予定している。件数が多いため、6月までには完了できない状況。田植えに間に合うよう、水利関係、不通になっている農道等を優先的に行う予定である。また、小規模災害は残り

110件で3月まで終わるよう申請者をお願いする。河川の掘削については、県河川については、県に要望している。町河川も考えていきたい。

問 神尾小学校の工場誘致の説明会が行われたが、町長としての様子に思われたか。また、学校跡地等活用検討委員会の報告をどう思われているか。今後の計画は。

答 (町長) 説明会を2回にわたり、活用事業の経緯、プロポーザル方式、排水、騒音等の説明、また企業誘致の思いを述べた。住民の不安解消など十分な説明が出来たと思う。学校跡地等活用検討委員会の最終報告書では、校舎、体育館、運動場等一体としての合宿所、宿泊施設、温泉プールといったグリーンツーリズムや、温泉施設として絡めた活用となっている重要な報告書と捉えて事業を進めてきた。今後は、測量等の終了後、議会の承認、売買契約、協定の締結、3月31日以降、土地建物の引渡しを予定している。最度の説明会は予定していない。



坂本 敏彦議員

学校跡地活用について コロナ禍の中、農畜産物価格低迷対策について

問 学校跡地活用の進捗と今後の計画は。

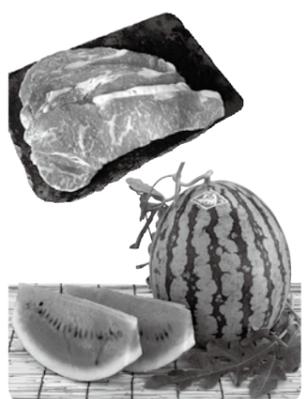
答 (町長) 菊水地区3小と神尾小は、公募型プロポーザルを実施し、契約候補者を選定し事業を進めている。譲渡後も地域の皆さんが安心して生活できるようにするのは当然である。騒音、排水、水の確保(濁水時)の問題等、問題が発生した場合、町と企業と一体となり、住民の皆さん方の生活を守るのが当然であり基本である。

提言 町所有の公共施設等の老朽化が進み維持費が膨らむなか、財政の状況は厳しさを増すと思われる。企業誘致することで、雇用が生まれ、定住促進につながり、地域も活性化すると考える。企業誘致し環境問題(騒音、排水、水質)他にも問題が発生した場合、迅速な対応をお願いしたい。

問 新型コロナウイルス感染症による農畜産物の販売低迷、価格低迷の今後の対策について問う。

答 (町長) 今後の施策として、コロナウイルスによる消費、価格の変動等を考慮し精査、協議、要望するように指示している。

答 (農林振興課長) コロナウイルスの状況を考慮しながら、所得向上、生産意欲の向上につながるような施策を、九州農政局、JAたまな、各種生産組織と協議を重ねている状況であり、今後も国へ強く要望していく。





少子化は、町の存亡に関わる問題だ。本気で新たな施策を早急に講じるべし！

人口減少と少子化対策について問う

問 近年出生数は平成30年49人、令和元年度が39人現在は36人となっているが2、3年前から極端に減少している。町も多くの子育て支援策を行っているにも関わらず、少子化が加速するというこの原因は何だと思ふか。

答 (町長) 今日まで子育て支援のサービスもそれぞれ充実を図りながら、今日に至っているが、決して内容は他所に劣るものではないと思っている。しかしながら、こういう状況が続くというのは私もなんだろうかなと思ふところである。

問 外に向けての観光や広報事業も大切であるが、定住促進効果を図る上では限定的である。要是子育て世代がこの町で家を建て、暮らしたいと思ふその決定要因は何なのか。またどのような施策が新たに必要だと考えているのか。

答 (町長) アンケートでは「子ども達を遊ばせる場がない」が非常に多かった。この辺は早急に検討の余地があると思ふ。

問 移住定住化を図るためにはやはり働く場の提供だ。この企業誘致の目標が令和6年度までに4件と書いてあるがその内容は。

答 (町長) 菊水地区3、三加和地区1の合計4つの小学校は確実に企業誘致に持つていける場所と目標を掲げている。

提言 企業誘致を本気でしようと思えば町長は、企業誘致課を作つて本当にやらなければ駄目だ。やはり企業誘致に取り組むんだという気迫・情熱これがない。私から見ればたった4件だ。それではあと令和6年までの4年間は、新たな目標がないということだ。やはりこの辺のところは、命をかけてでもやるんだという思いを持つて、町長自らが先頭指揮をとつて頂きたいと思ふ。



学校跡地等活用検討委員会最終報告の方針との整合性は？

問 学校跡地等活用検討委員会最終報告は、多くの町民への意向調査、アンケートを参考に学校跡地の活用方針を検討されたものであり、学校跡地は町民共有の貴重な財産であるという認識のもと、地域性や効率性を考慮しながら、和木町全体の活性化につながる具体的な提案をされたと認識している。学校跡地施設活用事業の内容は学校跡地等活用検討委員会の最終報告の内容と整合性が保たれているか？

答 (町長) 統廃合後の学校跡地等の活用方策等について検討するため、平成24年6月に町内各種団体の代表者等28名を構成員として、第1回目の検討委員会が開催された後、計7回開催されており、町全体の活性化につながる具体的な

提案として報告書が取りまとめられ、当時の町長に報告されている。私も当時の議会の議員として、委員に委嘱され、参加をしていたが、最終報告書によると、神尾小の具体的な活用内容は、「校舎、体育館、運動場など一体として合宿所、宿泊施設、温水プールといったグリーンツーリズムや隣接する交流センター等の温泉施設と絡めて活用する。活用にあたっては、有効に活用していただく事業者を公募することを検討する」と記載されている。しかし、学校跡地等活用検討委員会最終報告は、本委員会の意見を集約し、町長に報告するものであり、跡地活用の方法を確約するものでないと記録されている。とはいえ、跡地活用の方向性を示すものであり、重要な報告と捉え、事業を進めている。



新型コロナウイルス感染症の拡大対応について 菊水地区の学童保育はどうなっていくのか

問 新型コロナウイルス感染症の拡大対応について。

(1)新聞報道には、政府のGOTOキャンペーンの見直しが大きく報道されており、早急に「公助」態勢構築とある。

(2)自殺者の急増が指摘されており、「公助」による安全網確立が今こそ必要であることを強く認識すべきである。

(3)自治体には、医療支援とともに経済活動の縮小に伴う国民生活への追加の支援策も早期に示す必要があると思ふ。以上3点について町長の考えを聞きたい。

答 (町長) 町内の登録店舗からは「GOTOキャンペーンのおかげで持ち直した」「11月は昨年同月の売上を超えた」と聞いている。国の動向を注視していきたい。(2)については、和木町においては、確認されていない。(3)については、交付金

事業を展開した。1人当たり5,000円の商品券事業は好評であった。

問 菊水地区の(1)学童保育の現状、(2)学業面、保育面での問題点はないのか。(3)学童保育委託業者、保護者、学校の三者の連携は上手いっているのか。

答 (健康福祉課長) 利用者は、60名、70名。菊水小学校横に新しい施設を建築。(2)については、現在のところ問題ない。(3)については、学童保育委託業者、保護者、学校の三者の三者の連携は上手いっているのか。



和木町放課後児童クラブ施設

熊本県の「鬼滅の刃」聖地

参拝者急増の竈門菅原神社

坂本 敏彦

今や大人気となり、興業収入歴代1位となった「鬼滅の刃」はご存じの方も多くいらっしゃる事と思ふます。「鬼滅の刃」とは、時は大正時代、父の後を継ぎ炭焼きで生計を支えていた主人公、竈門炭治郎が、鬼と化した妹を人間にもどす方法を探

すために戦う姿を描く福岡県出身の吾峠呼世晴さんにより「週刊少年ジャンプ」に連載された日本の漫画です。この主人公の名字「竈門」が和木の竈門地区と同一であり竈門菅原神社がテレビ放送や新聞に掲載されたことにより、各地から多くの

方が参拝に見えられています。



この竈門菅原神社の祭神は菅原道真公であり牛の像が宮内に奉られています。また、竈門区は、女子バドミントンダブルス、フクヒロペアでおなじみの廣田彩花選手の故郷であり、幼少のころから参拝されていた竈門菅原神社をご参拝いただき、今年の干支である牛の像をなでてご利益を授けられてはいかがでしょうか。